

WAVE RIDER

ウェイブライダー形態 REAR VIEW

リアビュー

フロントビュー

リアビュー

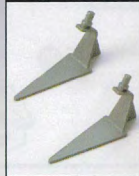


ACTION

アクション



プロトフィンファンネル
専用台座



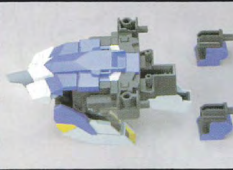
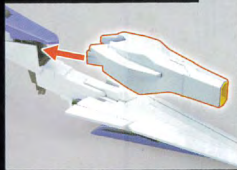
※画像は「バンダイプラモデルアクションベース2(別売り)」を2セット使用しています。

DETAIL

ディテール

ハイ・メガ・キャノン着脱

ウェイブライダー専用パーツ



MSN-001X GUNDAM DELTA KAI

E.F.S.F. TRANSFORMABLE MOBILE SUIT PROTOTYPE

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MSN-001X
TOTAL HEIGHT : 19.6m
WEIGHT : 28.0t
GENERATOR OUTPUT : 3,520kw
MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS :
BEAM SABER
LONG MEGA BUSTER
60mm VULCAN GUN
HIGH MEGA CANNON
PROTOTYPE FIN FUNNEL
BEAM CANNON
SHIELD



MSN-001X ガンダムデルタカイ

U.C.0094年、某宙域にて。技術実証を目的とした試作モビルスーツ《ガンダムデルタカイ》の試験戦闘は、宙賊たちの介入によって予期せず実戦へと移行する。「増援は呼ばなくてもよろしいのですか?」「今から呼んでも間に合うまい。たとえ呼んだとしても、来る頃には全てを終わらせているよ……《ガンダム》がね」試験担当の女性オペレーターの進言に対し、上官らしき男が余裕の表情で答える。戦場は一体の試作機に複数の賊が襲いかかる悲観的状况に見えたが——正確には違っていた。男が《ガンダム》と呼ぶ試作機は、駆動部から生々しい蒼炎を断続的に吹かせつつ、品定めをするように各々の敵へ「襲いかかっていた」のだ。単機が備えるには度を超えた武装類を巧みに使い分ける純白と明紫のモビルスーツは、相手に連携を取らせる間も与えず無慈悲に各個撃破していく。志しすら持たぬ賊とは言え、中に人が収まっていることなど意にも介さぬ戦いぶりは、先程まで試験戦闘を行っていた《デルタプラス》のパイロットからしても、きわめて違和感を覚えるものだった。あきらかに豹変している。モビルスーツが——それとも人か? すべてが終わり、戦場はただの宇宙へと戻った。いまだ全身に熱気を帯びたまの《ガンダムデルタカイ》は、もはや何者でも戦えればよい、という意志を吐き続けているようにも見える。《デルタプラス》のコックピットに、オペレーターと上官の通信がノイズ混じりに響いた。「中佐……《ナイトロ》システムとは」「ふ……《ガンダム》は、全てが求められるまま、いつの時代も生まれるべくして生み出されたのだよ」

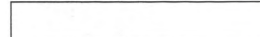


※画像はイメージです。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。
※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。

●本体等ホワイト部:



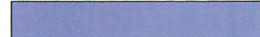
ホワイト(100%)
+ニュートラルグレー(少量)

●関節部等:



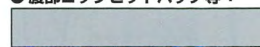
ニュートラルグレー(70%)
+ブラック(30%)

●胸部パープル部:



パープル(45%)
+スカイブルー(45%)
+ホワイト(10%) +レッド(極少量)

●腹部コックピットハッチ等:



ニュートラルグレー(80%)
+ホワイト(20%)

●黄色部等:



イエロー(65%)
+ホワイト(25%)
+オレンジイエロー(10%)

●カメラアイ等:



下地にシルバー(100%)
+クリアグリーン(75%) +クリアブルー(25%)

1/144 SCALE



GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト ▶ www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。

BANDAI 2012 MADE IN JAPAN

●画像の完成品は塗装してあります。

0179641



MSN-001X GUNDAM DELTA KAI

MSN-001X《ガンダムデルタカイ》は、MSN-001A1《デルタプラス》の運用データを基に「特殊装備」を追加実装させ、それらの技術実証を目的とした試作TMS(可変モビルスーツ)である。機体特性が一変するモビルスーツとウェーブライダーの両形態において、各種兵装がどのような機能変化を示すのか、また、示された変化に対する効果的な改良点を見出すための純粋な試験機ではあったが、それ故にきわめて攻撃能力を特化させる設計が行われた。これは本機に設定された武装類を見れば明らかであり、主武装となる大型携行火器ロング・メガ・バスターやオプション武装のハイ・メガ・キャノンなど、かつて「恐竜的進化」と評された出力偏重時代を想起させる高威力兵装を筆頭に、数多くの特徴的な武器が用意されているのである。なによりも本機最大の特徴は、それらを淀みなく扱うために搭載された新型サイコミュ装置「n_i_t_r_o(ナイトロ)」の存在だろう。適性のない一般兵士でもニュータイプ並みの戦闘能力を手にするという謳い文句の本システムは、複雑な火器管制、機体追従性の向上だけではなく、機械的処理でそれらを再現する従来の準サイコミュでも成し得なかった感応液検知型のオールレンジ兵器、いわゆるファンネルの運用を可能としたのである。まさに革新技術と表現出来るものの、ナイトロの詳細は非公表となっており、一部の専門家からは搭乗者の精神状態に影響を及ぼす可能性なども指摘されている。宇宙世紀0094年にロールアウトした本機は、某地域にて《デルタプラス》との試験戦闘を実施し、その後は地球で最終調整を行なったという。《デルタ》に《カイ》が交わり、幻影は新たな意味と使命を持って宇宙世紀に現じた。《デルタカイ》のすべでは、ここから始まるのである。



ロング・メガ・バスター

MSN-00100(百式)の改良バリエーション機向けに開発していた長射程の大型携行火器。通常のビーム・ライフルと比較にならない威力を示す。《デルタプラス》本来の標準兵装でもあり、そのまま継続して《デルタカイ》にも採用された。

SPEC

型式番号：MSN-001X
 全高：19.6m 本体重量：28.0t
 ジェネレーター出力：3,520kw
 装甲材質：ガンダリウム合金
 武装：ビーム・サーベル
 ロング・メガ・バスター
 60mmバルカン砲
 ハイ・メガ・キャノン
 プロト・フィン・ファンネル
 ビーム・キャノン
 シールド

プロト・フィン・ファンネル

かつてRX-93(νガンダム)が装備していたジェネレーター搭載型ファンネルのプロトタイプ。ユニット自体に展開機能はなく、オールレンジ攻撃用途のみに限定されているが、開放型バレルからショットガンを思わせる高出力のビーム散弾を放射する。



ハイ・メガ・キャノン

本ユニット内から直接供給される大量のエネルギーを極限まで圧縮充填し、一挙に開放する広域兵器。MSZ-010(ZZガンダム)が内蔵していた同名兵器と比べ、ビーム出力は45%まで抑えられているものの、ある程度の連続発射が可能となった。

MS形態 MOBILE SUIT MODE



ウェーブライダー形態 WAVE RIDER MODE



シールド/ビーム・サーベル
 シールドはもはや便宜上の呼称でしかなく、それ自身が完全な変形用サブユニット兼、オプション装備の換装可能なウェポン・プラットフォームと化した。ビーム・サーベルは収納時にビーム・キャノンの砲身部としても機能する。

※この商品には、「HGUC ガンダムデルタカイ」が1セット入っています。
 ※画像は「バンダイプラモデルアクションベース2(別売り)」を使用しています。

ガンダムデルタカイを主役にした新作漫画「機動戦士ガンダムUC 0094 アクロス・ザ・スカイ」が月刊ガンダムエースにて連載開始!

HGUC デルタシリーズの機体をHGUCで確認せよ!!

※この商品には、「HGUC ガンダムデルタカイ」が1セット入っています。

デルタガンダムが目指していた「TMS」の完成型。規格外の性能を誇る試作機。

変形

変形

HGUC No.115 デルタプラス

HGUC No.136 デルタガンダム

デルタプラスの設計データの基となったTMS。Zガンダムに匹敵する性能を秘めていた。



警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

塗装をするところ	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側に同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意
切り取る場所	×2 部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	180° 数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動かします

パーツリスト

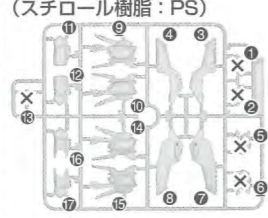
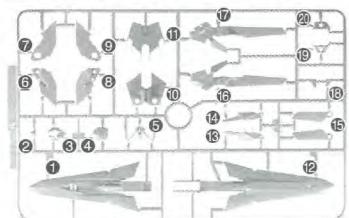
(×印は使用しないパーツです。)

Cパーツ (×2) (スチロール樹脂: PS)

Dパーツ (スチロール樹脂: PS)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

Bパーツ (スチロール樹脂: PS)

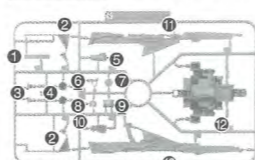
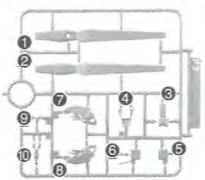
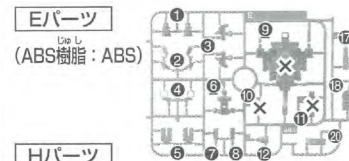


Eパーツ (ABS樹脂: ABS)

F1パーツ (スチロール樹脂: PS)

F2パーツ (スチロール樹脂: PS)

Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



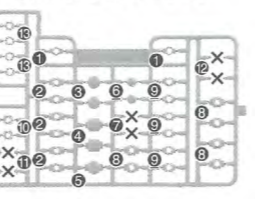
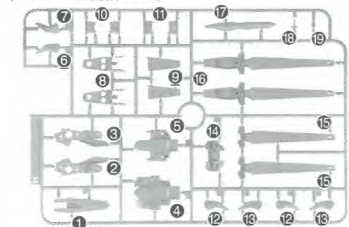
Hパーツ (スチロール樹脂: PS)

I1パーツ (スチロール樹脂: PS)

I2パーツ (スチロール樹脂: PS)

SB6パーツ (スチロール樹脂: PS)

(PC-132ABC) (ポリエチレン: PE)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

●シール.....1

1 (先に組む) F112, F116, PC5

2 H6, PC2, E12

3 ※きれいに切り取ります。 I19 (後に組む) 2, F116, G9 (シール) 19

4 I17, I210, I118

5 4, D10, D9

6 H18, A2, (シール) 4

7 A4 (シール) 2, A3 (シール) 24, 23 (反対側に貼るシール), 6 (先に組む), (後ろから見た図), (横から見た図), (シール) 20, 21

8 (先に貼るシール) 1, H19, ※きれいに切り取ります。 A6, (反対側に貼るシール) 29, 30

9 (F27) F17, (F28) F18, (F24) F14, (シール) 5, ※形に合わせて少し曲げるとよいでしょう。 H12 (反対側に取り付ける), H13 (反対側に貼るシール)

10 (後に組む) I14, (F25) F15, F16, (F26) F16, PC13, E4, ※PCパーツを押さえながら取り付けます。

11 (F25) F15, (F26) F16, PC9, D19, D20 (後に組む), PC6

12 (先に組む) C22, C21, 11, C20, C14 (×2), PC10

13 C14 (×2), PC10

14 (後に組む) 13, D24 (向きに注意), 12

15 9, 10, 14

16 15, C17, D17, D16

17 15, D18, C17, D16

18 8 で作った頭部, 5 で作ったボディ, 16 で作った右腕, 17 で作った左腕

19 (F25) F15, (F26) F16, PC9 (後に組む), C7, PC4

20 C5, H8, H9, ※きれいに切り取ります。

21 20, H11, 19

22 C10, C9

23 **x2**
2個作る

D6 (後に組む)

I2 (12)

PC1

24 **x2**
2個作る

(F210) F110

E2

F13 (F23)

25 **x2**

※きれいに切り取ります。

D7

※ここを差し込みます。

PC9 D8

PC8 (後に組む)

C11

26

B9 PC8

25

B16

《横から見た図》

(シール) 13 (シール) 16
(シール) 14 (シール) 15

(後に組む)

27

PC3 D23

D21 (向きに注意)

B11 (後に組む) PC8 B17

23

26

28

27

E3

22

29

※きれいに切り取ります。

D14

※ここを差し込みます。

C11

D16 PC9

PC8

(後に組む)

30

24

29

B14

PC8 B10

《横から見た図》

(シール) 13 (シール) 16
(シール) 14 (シール) 15

(後に組む)

31

PC3

D23

D22 (向きに注意)

32 (後に組む)

PC8 B12

B16 23

33

30

31

32

34

33

E3

22

35

C1 ※きれいに切り取ります。

※きれいに切り取ります。 I110

C2 A18

(後に組む)

I110

※切り取らないように注意してください。

1 2 3 4

E6

PC2

36

A10 ※きれいに切り取ります。

PC2 (後に組む)

A11

PC2 D1 D2

(反対側に貼るシール)

16 17

37 (向きに注意)

E8

A20

《内側から見た図》

35

36 (向きに注意)

E7

A19

《内側から見た図》

38 ※シールは先に貼ります。

《横から見た図》

G3

A16

H3

A15

(シール) 35 (シール) 36

《組み付け位置》

39

(シール) 32 (シール) 31

A13

(後に組む)

12 (シール)

G4

40 ※シールは先に貼ります。

《横から見た図》

H2

G3

A17

A15

(シール) 34 (シール) 36 (シール) 41

《組み付け位置》

41

(シール) 33 (シール) 31

(シール) 10

A14

(後に組む)

G4

40

42

37

39

で作った腰部

41

28

で作った右脚

34

で作った左脚

43

18

42

※バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)差し込み用
(丸型)BA4-A9

44

B4

C12

B8

《組み付け位置》

向きを
かえます。

PC13

(後に組む)

(シール) 39

45

※シールは先に貼ります。

(シール) 38 (シール) 26

(シール) 37

(シール) 43

E17

(後に組む)

向きを
かえます。

B7

C12

B9

《組み付け位置》

向きを
かえます。

PC13

(後に組む)

C13

46 ※シールは先に貼ります。

(シール) 26

(シール) 38 (シール) 37 (シール) 42

E17

(後に組む)

47 **x2**
2個作る

H16 H15

F12 (F22)

(後に組む)

(シール) 8

F11 (F21)

48

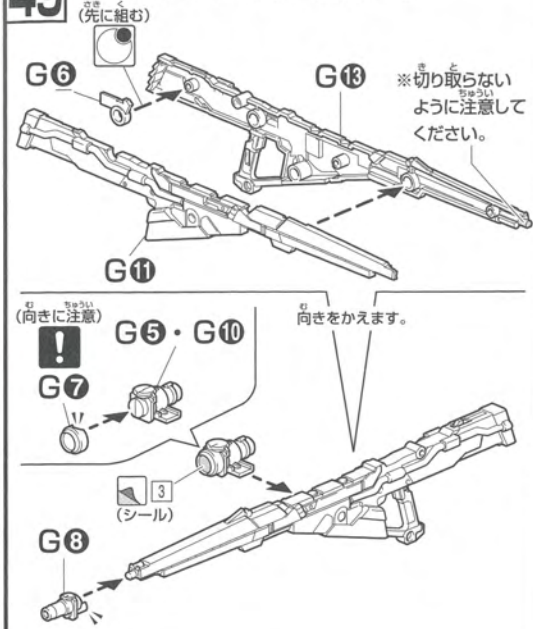
47

44

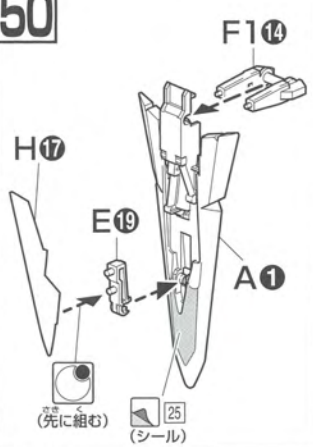
43

46

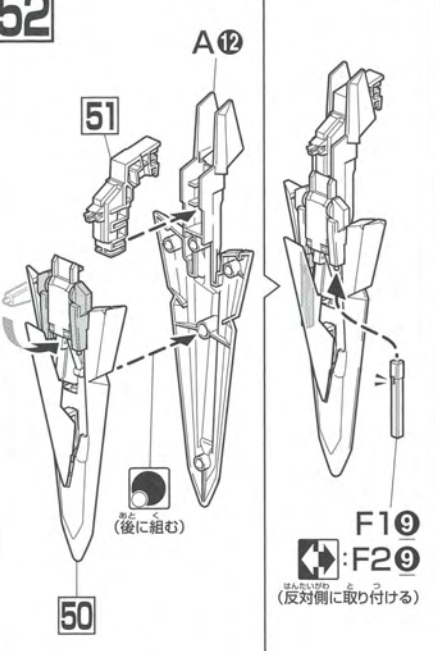
49 <ロング・メガ・バスター>



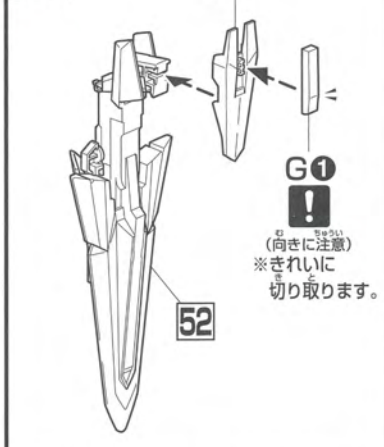
50



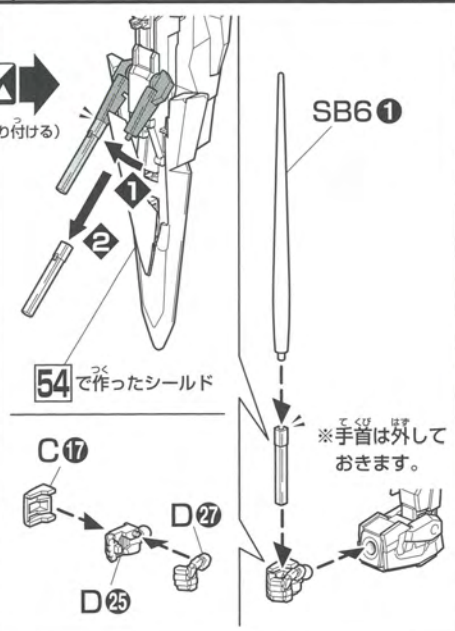
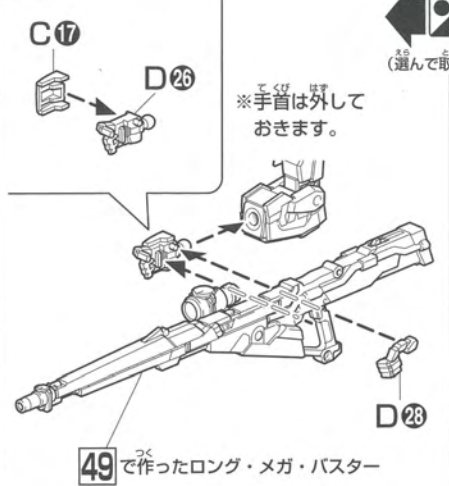
52



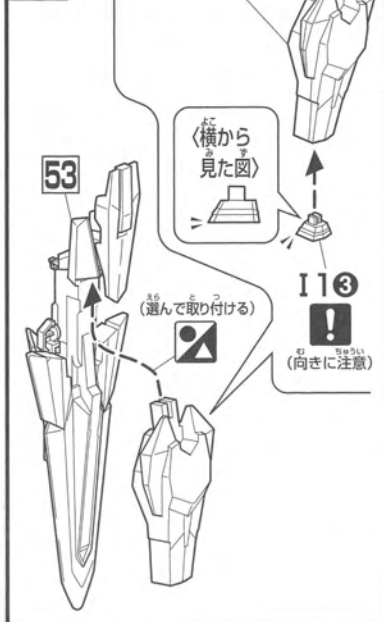
53 <シールド>



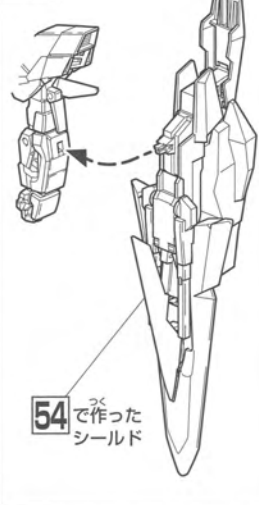
55



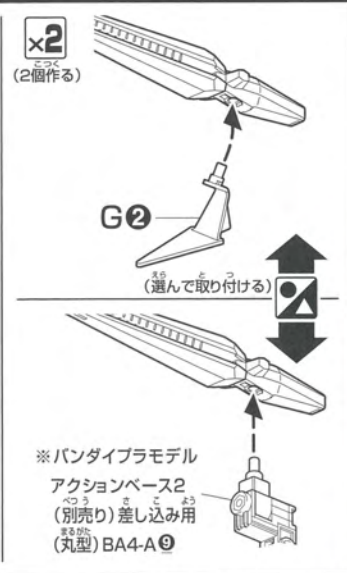
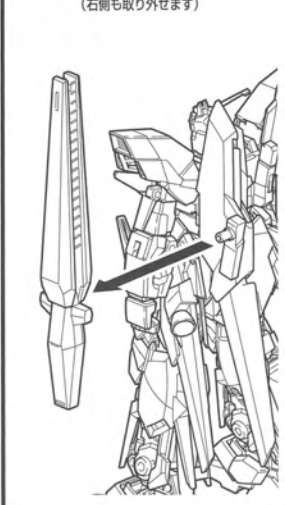
54



56

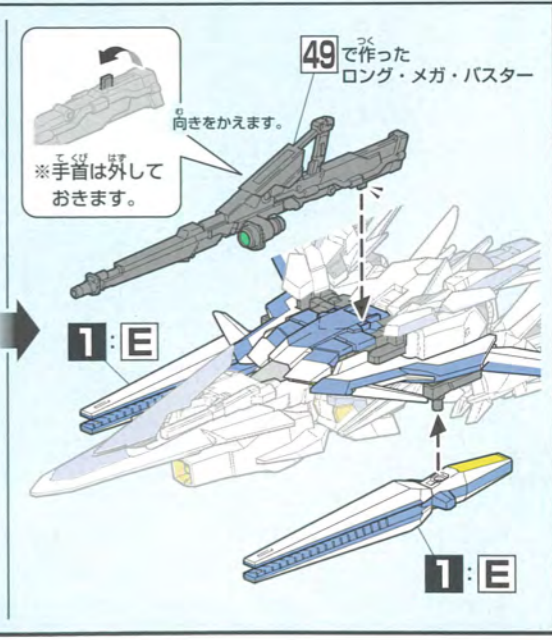
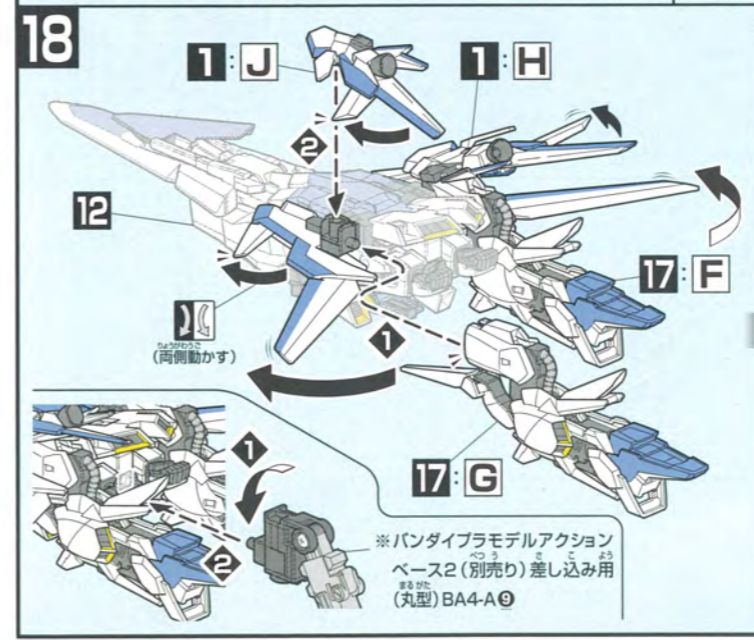
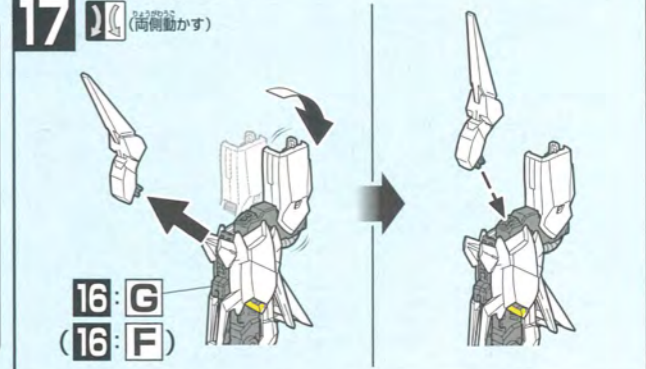
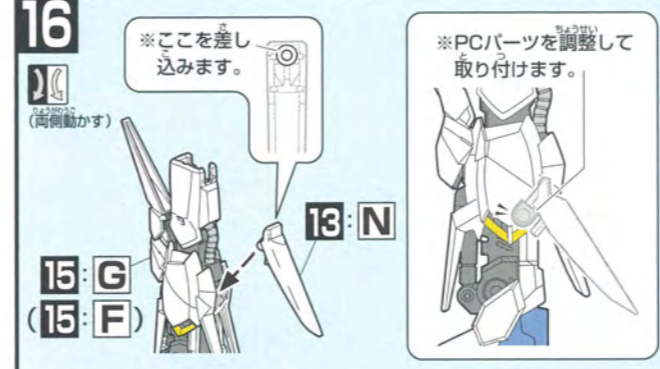
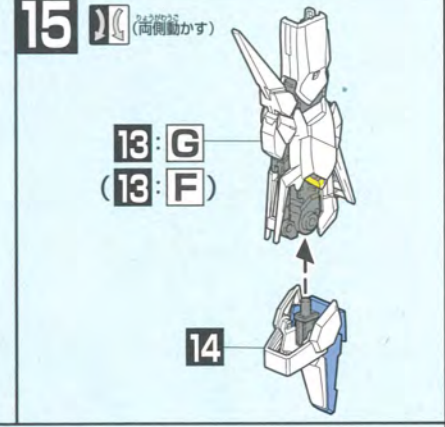
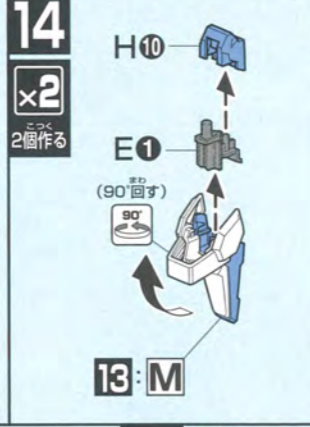
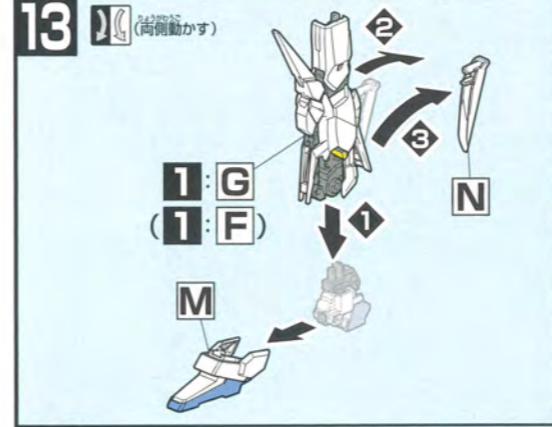
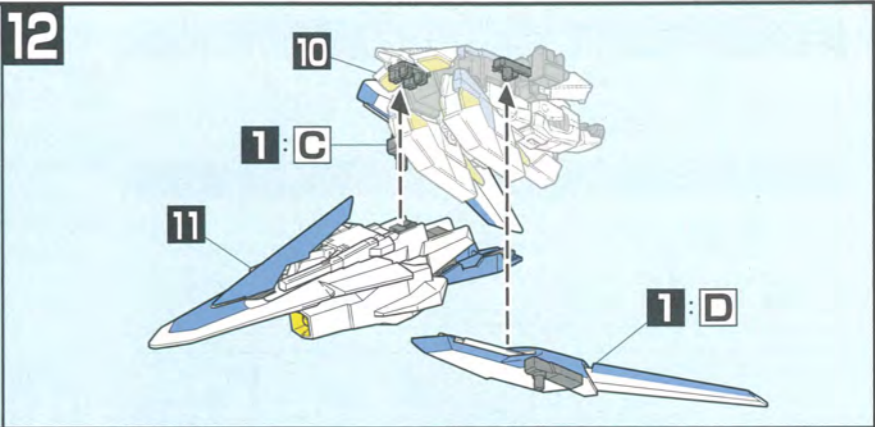
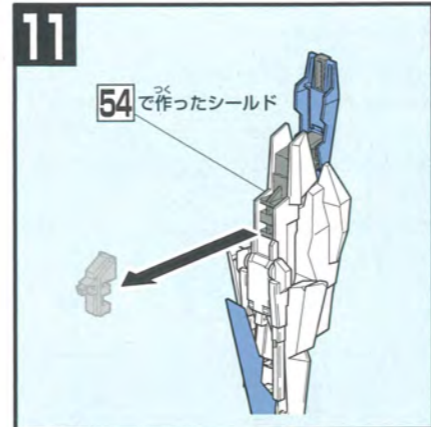
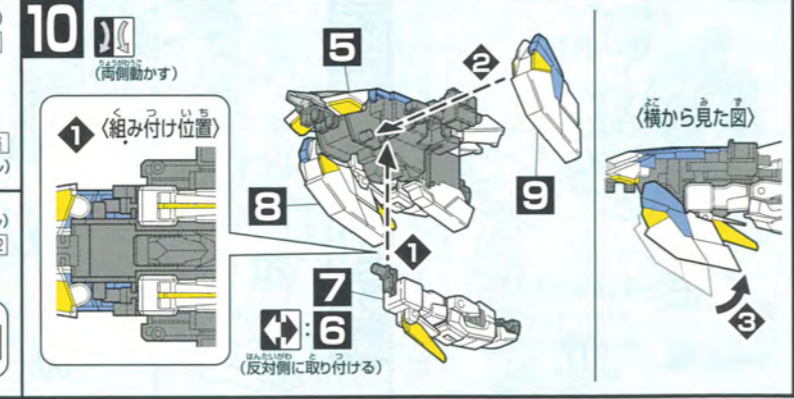
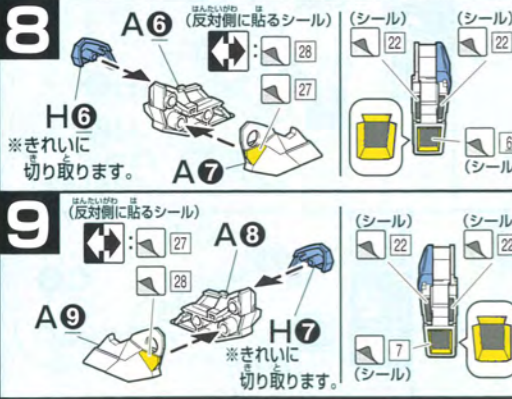
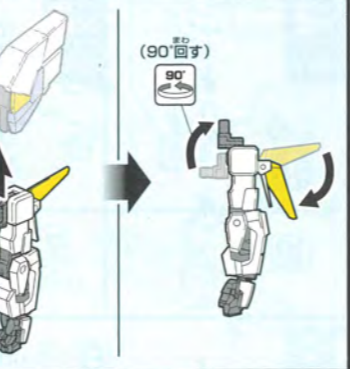
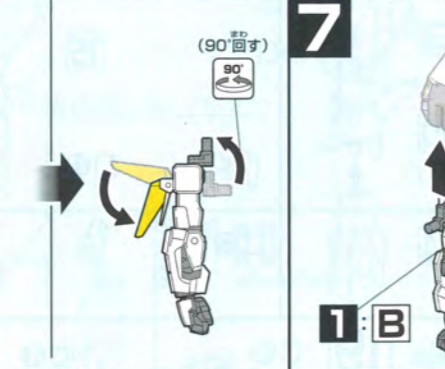
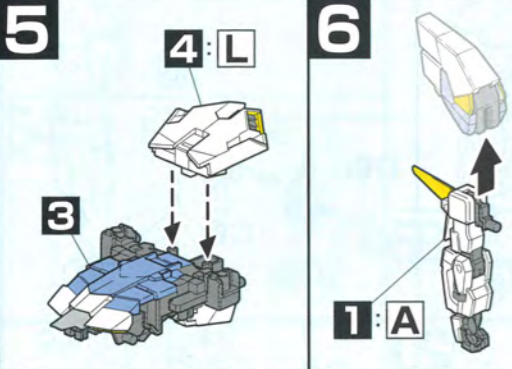
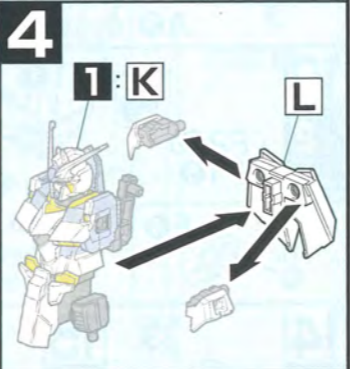
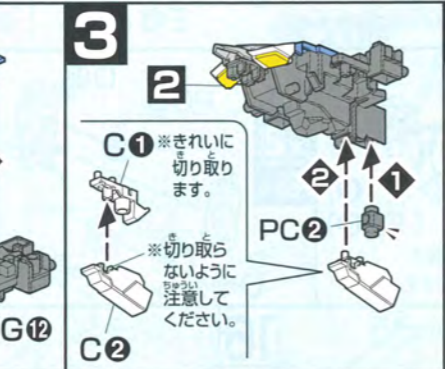
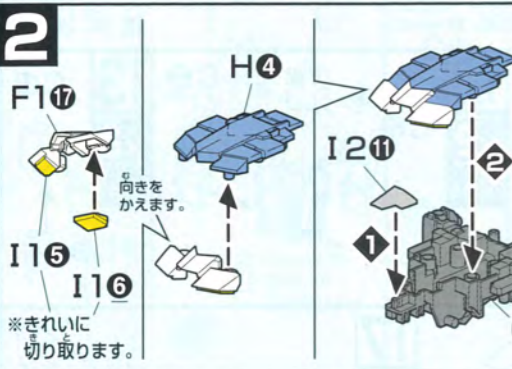
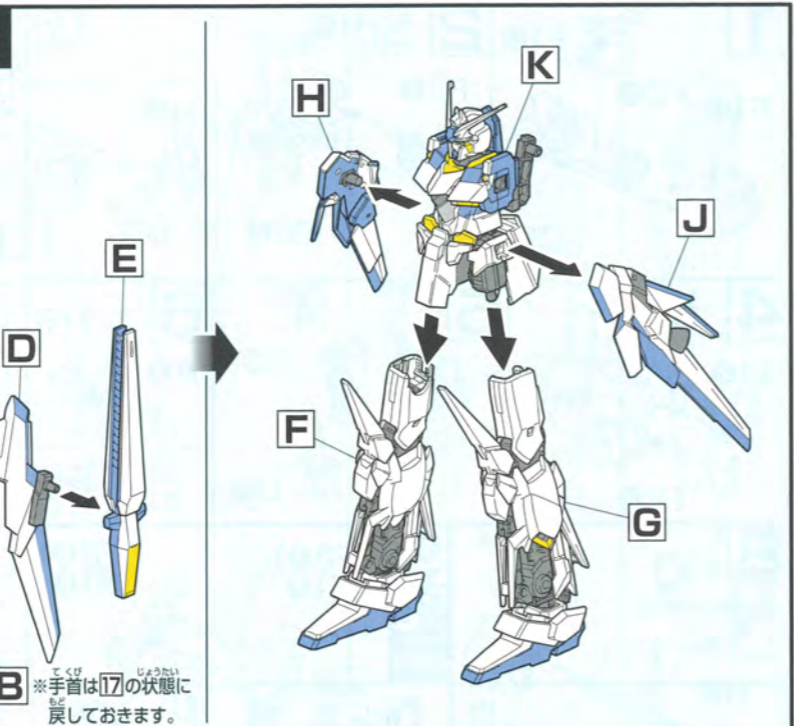
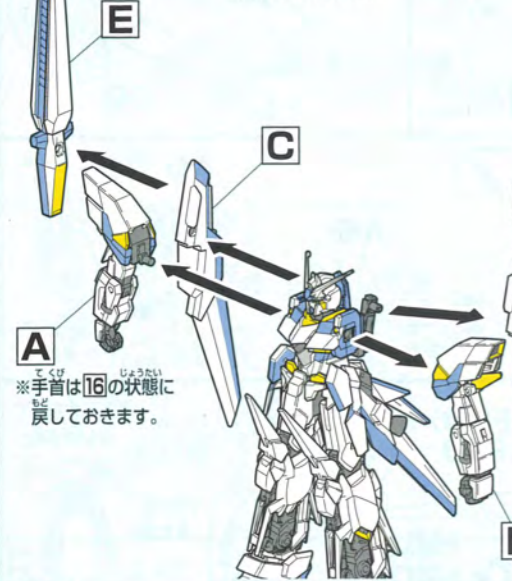


57



1 ウェイブライダー形態への変形

※ロング・メガ・バスター、シールドは外しておきます。



※バンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) 差し込み用 (丸型) BA4-A⑨